

苗字の生存競争における研究

2014年7月 丑寅 8 八木長忠

1 現在、日本の国に於ける、苗字の数は、約1,1万五千種類といはれている。

2 総数は人口が1億2千700万人として、単純平均で約1100人(400所帯)/苗字。

3 現在の順位

	所帯数		
1 佐藤	474,558		
2 鈴木	418,463		
3 高橋	348,628		
4 田中	327,593		
5 渡辺	268,896		
6 伊藤	265,902		
7 山本	264,557		
8 中村	256,902		
9 小林	250,901		
10 加藤	211,491	合計	3,087,891
・	・		
100 新井	44,969		
・	・		
1000 長沼	4,489		
・	・		
5000	526		
6000	399		
・	・		
10000	183		

※ 以上、苗字と人口の関係はかなり独特な分布のため、一般的な、分布図では表現し難い。

4 全体的将来の動向

苗字は全体として、人口の減少により、少なくとも総数は減少しつつある。
女子の出生率は現在、約1.4なので、一世代で約30%減少する。

5 生存競争としての将来に対する一つの検討。

1) S_G : 未成年男子世代人数

F_N : S_G の先祖(F_1 は父親の世代)の人数

以上仮定すると、以下の不等式が成り立つ。(生物学上の法則)

$$S_G \geq F_1 \geq F_2 \geq F_3 \cdots \geq F_N$$

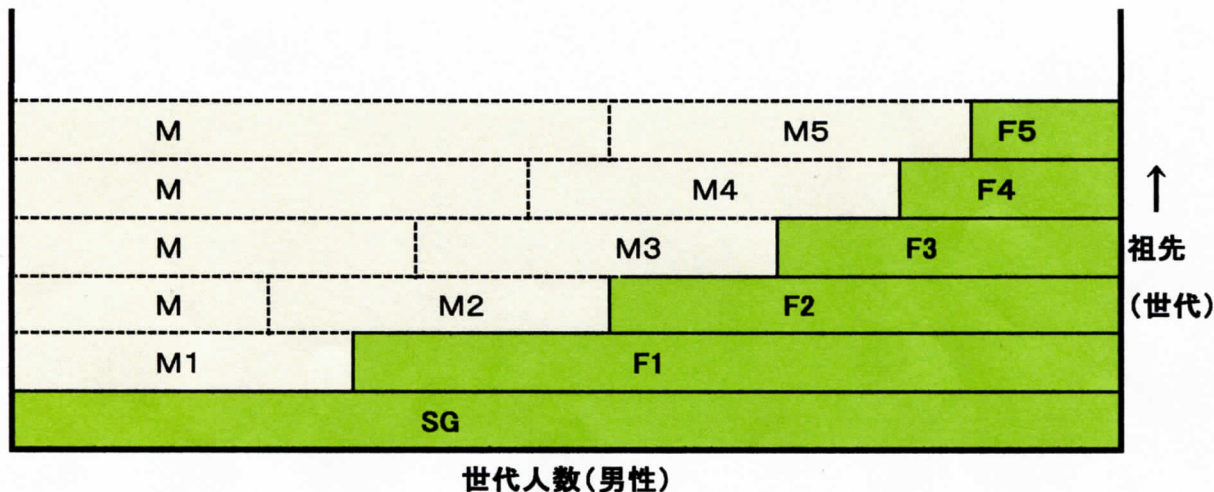
2) 上式をイメージ的模式図にして検討する。

6 考察

3 の分布状況、5の2)等を合わせて考察すると、将来益々少数の苗字群に集約されて行くと推定される。

イメージ的模式図

(苗字の生存競争における研究)



SG: 息子
F1: 父親
F2: 祖父
F3: 曾祖父
F4: 4代上の父親
F5: 5代上の父親

M: 男性で、息子有り、娘の有無は問はない
M1~M5: 息子が一人も無い。